

## 平成31年(2019年)3月 水産物部 主要品目の市況

	種類	品目	市況の概要	2019年3月 数 (トン)	2019年3月 平均単価 (円)	前年同月比 (数量)	前年同月比 (平均単価)
1	生 鮮	ま ぐ ろ (本まぐろ)	蓄養物の入荷が特に減少したため、前年と比べ、取扱数量は減少、平均単価は前年並みでした。	14	2,608	84%	98%
2		め ば ち	国内産・東南アジア産の不漁により、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はやや上がりました。	1	2,023	63%	110%
3		は ま ち	天然物の入荷が多かったため、前年と比べ、取扱数量は増加、平均単価は前年並みでした。	22	1,051	117%	101%
4		あ じ	九州中心の入荷となりました。前年と比べ取扱数量はかなり増加、平均単価は下がりました。	66	510	136%	88%
5		い か	山陰・千葉・静岡中心の入荷で、前年と比べ、取扱数量やや増加、平均単価は前年並みでした。	37	890	109%	101%
6		さ ば	房州・静岡・三重の入荷が多く、前年と比べ、取扱数量はかなり増加、平均単価は下がりました。	48	446	127%	82%
7	冷 凍	め ば ち	前年と比べ、取扱数量はやや減少し、平均単価はやや上がりました。	53	1,313	95%	109%
8		い か	漁期は終了しました。取扱数量は前年並み、平均単価は前年と比べるとやや下がりました。	19	967	101%	96%
9		さ ば	ノルウェー産の高騰により国内産にも影響を受け、前年と比べ取扱数量はやや減少し、平均単価は上がりました。	11	532	96%	118%
10	加 工	さ け ま す	チリ銀サケの入荷が順調のため、前年と比べ、取扱数量はやや上昇、平均単価は前年並みでした。	71	1,127	104%	101%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上